

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2002-91720 (P2002-91720A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 29 日 (2002.3.29)
 【出願番号】特願 2000-278187 (P2000-278187)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 27 日 (2006.11.27)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】印刷装置からの情報に基づいて、当該印刷装置に送信されたジョブの処理結果を確認可能な情報処理装置であって、

前記印刷装置からログ情報を取得するログ取得手段と、

前記ログ取得手段により取得されたログ情報に基づいて、前記ジョブの処理結果を判定する判定手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】前記ジョブの処理結果を示す通知を前記印刷装置から受信する受信手段を有し、

前記受信手段により前記通知が受信されないのに応じて、前記ログ取得手段は、ログ情報を取得し、前記判定手段は、取得されたログ情報に基づいて当該ジョブの処理結果を判定することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】前記判定手段による判定結果に基づいて、前記ジョブの処理結果を示す情報を外部装置に通知する通知手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】前記ログ取得手段は、前記印刷装置に格納されている全てのログ情報のうち、新しいものから所定数だけを取得することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 5】前記印刷装置は、各ジョブの処理結果を示すログ情報をキューで管理し、

前記取得手段は、キューの追加位置から所定数だけさかのぼってログ情報を取得することを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】印刷装置からの情報に基づいて、当該印刷装置に送信されたジョブの処理結果を確認可能な制御プログラムが格納された、コンピュータにより読取可能な記録媒体であって、前記制御プログラムは、

前記印刷装置からログ情報を取得するログ取得ステップ前記ログ取得ステップにより取得されたログ情報に基づいて、前記ジョブの処理結果を判定する判定ステップとを装置に実行させることを特徴とする記録媒体。

【請求項 7】印刷装置からの情報に基づいて、当該印刷装置に送信されたジョブの処理結果を確認可能な制御プログラムであって、

前記印刷装置からログ情報を取得するログ取得ステップ前記ログ取得ステップにより取得されたログ情報に基づいて、前記ジョブの処理結果を判定する判定ステップとを装置に

実行させることを特徴とする制御プログラム。

【請求項 8】 前記ジョブの処理結果を示す通知を前記印刷装置から受信する受信ステップを前記装置に実行させ、

前記受信ステップにより前記通知が受信されないのに応じて、前記ログ取得ステップは、ログ情報を取得し、前記判定ステップは、取得されたログ情報に基づいて当該ジョブの処理結果を判定することを特徴とする請求項 7 に記載の制御プログラム。

【請求項 9】 前記判定ステップによる判定結果に基づいて、前記ジョブの処理結果を示す情報を外部装置に通知する通知ステップを前記装置に実行させることを特徴とする請求項 7 に記載の制御プログラム。

【請求項 10】 前記ログ取得ステップは、前記印刷装置に格納されている全てのログ情報のうち、新しいものから所定数だけを取得することを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれかに記載の制御プログラム。

【請求項 11】 前記印刷装置は、各ジョブの処理結果を示すログ情報をキューで管理し、

前記取得ステップは、キューの追加位置から所定数だけさかのぼってログ情報を取得することを特徴とする請求項 10 に記載の制御プログラム。

【請求項 12】 前記取得ステップは、前記印刷装置の印刷枚数速度に基づいて、前記所定数を算出することを特徴とする請求項 10 或いは 11 に記載の制御プログラム。

【請求項 13】 前記取得ステップは、ログ情報を取得する間隔に基づいて、前記所定数を算出することを特徴とする請求項 10 乃至 12 のいずれかに記載の制御プログラム。

【請求項 14】 印刷装置からの情報に基づいて、当該印刷装置に送信されたジョブの処理結果を情報処理装置で確認可能なプリントシステムにおける処理結果確認方法であって、

前記印刷装置からログ情報を取得するログ取得ステップと、

前記ログ取得ステップにより取得されたログ情報に基づいて、前記ジョブの処理結果を判定する判定ステップとを有することを特徴とする処理結果確認方法。

【請求項 15】 前記ジョブの処理結果を示す通知を前記印刷装置から前記情報処理装置へ転送するステップを有し、

前記転送ステップにより前記通知が転送されないのに応じて、前記ログ取得ステップは、ログ情報を取得し、前記判定ステップは、取得されたログ情報に基づいて当該ジョブの処理結果を判定することを特徴とする請求項 14 に記載の処理結果確認方法。

【請求項 16】 前記判定ステップによる判定結果に基づいて、前記ジョブの処理結果を示す情報を前記情報処理装置から外部装置に通知する通知ステップを有することを特徴とする請求項 14 に記載の処理結果確認方法。

【請求項 17】 前記ログ取得ステップは、前記印刷装置に格納されている全てのログ情報のうち、新しいものから所定数だけを取得することを特徴とする請求項 14 乃至 16 のいずれかに記載の処理結果確認方法。

【請求項 18】 各ジョブの処理結果を示すログ情報をキューで管理する管理ステップとを有し、

前記取得ステップは、キューの追加位置から所定数だけさかのぼってログ情報を取得することを特徴とする請求項 17 に記載の処理結果確認方法。

【請求項 19】 前記取得ステップは、前記印刷装置の印刷枚数速度に基づいて、前記所定数を算出することを特徴とする請求項 17 或いは 18 に記載の処理結果確認方法。

【請求項 20】 前記取得ステップは、ログ情報を取得する間隔に基づいて、前記所定数を算出することを特徴とする請求項 17 乃至 19 のいずれかに記載の処理結果確認方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、情報処理装置が印刷装置からログ情報を取得して、取得したログ情報に基づいてジョブの処理結果を判定することで、確実な印刷排紙確認を行うことが可能になる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 5 】

また、印刷装置のログ取得の個数を機種に応じて絞り込むことで、ログ取得による印刷確認を高速に行え、かつ、ネットワークの負荷、プリンタの処理の負荷を削減することができる。